

JUIDA会員の皆様

平素よりお世話になっております。

皆様の力添えになるべく、中小企業庁「ものづくり補助金」についてご案内いたします。新規事業を始めたい方や大規模な設備投資をしたい方には特におすすめです。

ものづくり補助金とは？

「ものづくり補助金」は中小企業庁で公募されている最も人気が高い補助金です。新規事業の設備投資に対して最大1250万円を補助します。

対象となる新規事業は「競合他社がほとんどいない革新的なサービス・製品開発」で、申請できるのは主に中小企業・中堅企業、小規模事業者となります。

ものづくり補助金の公式HPはこちら↓

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

いくらもらえる？

もらえる金額の上限は従業員数によって異なります。従業員5人以下は750万円、従業員6～20人は1000万円、従業員21人以上は1,250万円までとなります。補助率は中小企業・中堅企業が1/2、小規模事業者が2/3となります。

たとえば従業員15人の中小企業が2400万円の設備投資をする場合、2400万円×補助率1/2=1200万円となります。しかし、従業員15人の企業がもらえる上限額は1000万円のため、1000万円がもらえることになります。

どんな採択事例がある？

「革新的なサービス・製品開発」であれば、どんな事業でも採択されます。たとえば北海道のIT企業の「飲食店が狩猟者にジビエの発注ができるウェブサービス」、埼玉県歯科クリニックの「ウィズコロナに対応した治療手法の開発」等といった事例があります。

特に近年はドローン等の最新技術を用いた事業が採択される傾向が強いです。たとえば大阪府の建設業者は「赤外線カメラ搭載のドローンによる外壁調査」で採択され、愛媛県の農業資材を扱う事業者は「ドローンによる農薬散布サービス」で採択されています。

採択事例の一覧についてはこちら↓

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/saitaku.html>

何が対象経費になる？

新規事業の設備投資であれば非常に幅広い経費が対象になります。たとえば、ドローン等の機材の経費はもちろんのこと、専門家に支払うコンサル費用、デザイン設計の外注費、特許取得に必要な経費等も含まれます。

ただし、補助金に採択される前に発注・購入してしまうと、その経費は対象外となるため気を付けましょう。

主な対象経費
機械装置・システム構築費、技術導入費、 専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、 原材料費、外注費、知的財産権等関連経費
※単価50万円（税抜）以上の設備投資が必須

申請方法は？

ものづくり補助金は原則オンライン申請となり、「GビズIDプライム」というアカウントを利用します。このアカウントの取得自体は無料ですが、申請してから取得するのに2～4週間かかるため、早めに取得しておきましょう。

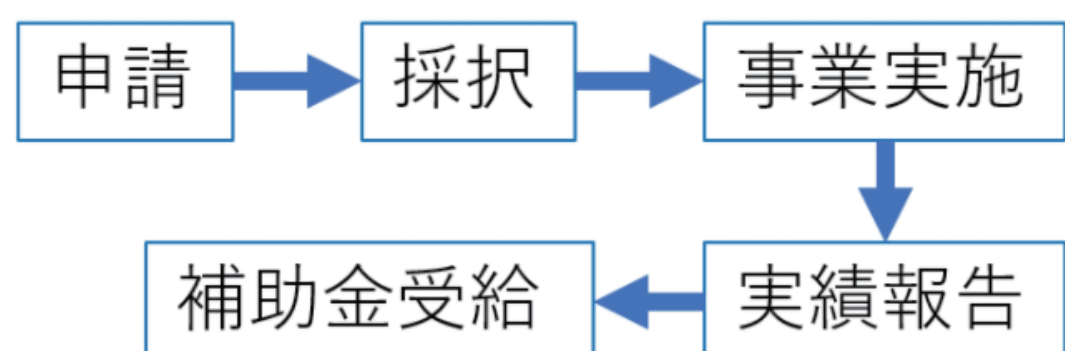
GビズIDプライムについてはこちら↓

<https://gbiz-id.go.jp/top/>

申請から受給までのスケジュール

ものづくり補助金は通年で募集しており、2～3カ月単位で締切が設けられています。**直近のスケジュールとしては2022年2月8日締切となります。**

採択された後は実際に事業を実施し、完了後に実績報告を行います。実績報告が認められればようやく補助金を受給できます。



申請してから補助金を受給するまで少なくとも1年はかかりますが、それまでの経費はすべて持ち出しとなります。つなぎの資金を確保しておきましょう。

スケジュールについてはこちら↓

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/schedule.html>

採択率はどれくらい？

ものづくり補助金は申請すれば必ず採択されるわけではありません。審査の上、採択・不採択が決定します。今までの採択率はおおよそ40～60%を推移しています。

今までの採択結果				
締切回	採択発表日	応募者数	採択者数	採択率
1次	令和2年4月28日	2,287	1,429	62.5%
2次	令和2年6月30日	5,721	3,267	57.1%
3次	令和2年9月25日	6,923	2,637	38.1%
4次	令和3年2月18日	10,041	3,132	31.2%
5次	令和3年3月31日	5,139	2,291	44.6%
6次	令和3年6月29日	4,875	2,326	47.7%
7次	令和3年9月27日	5,414	2,729	50.4%
8次	令和4年1月12日	4,584	2,753	60.1%

ものづくり補助金の特別枠について

今までご紹介したのはものづくり補助金の「通常枠」ですが、他にも「特別枠」があります。通常枠が最も申請の難易度が低いですが、特別枠で申請すれば受給額がアップしたり優先的に採択されたりします。

特別枠には業況が厳しい事業者向けの「回復型賃上げ・雇用拡大枠」、DX関連の新規事業を支援する「デジタル枠」、脱炭素化につながる新規事業を支援する「グリーン枠」があります。

各枠のもらえる金額については下図をご参照ください。

特別枠についてはこちら↓

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/2021/hosei/mono.pdf>

ものづくり補助金		
枠	上限額	補助率
通常枠	従業員5人以下：750万円 従業員6～20人：1,000万円 従業員21人以上：1,250万円	中小企業・中堅企業:1/2 小規模事業者:2/3
回復型賃上げ・雇用拡大枠		
デジタル枠		
グリーン枠	従業員5人以下：1,000万円 従業員6～20人：1,500万円 従業員21人以上：2,000万円	2/3

ものづくり補助金の申請を検討している方は公募要項を読み込み、自分がどの枠で申請できるのか、他にどんな条件があるのか等をしっかり確認しましょう。

ものづくり補助金に関するお問い合わせ

<ものづくり補助金事務局サポートセンター>

URL：<https://portal.monodukuri-hojo.jp/otoiawase.html>

受付時間：10:00～17:00（土日祝日および12/29～1/3を除く）

電話番号：050-8880-4053

メールアドレス

公募要領に関するお問い合わせ：monohojo@pasona.co.jp

電子申請システムの操作に関するお問い合わせ：

monodukuri-r1-denshi@gw.nsw.co.jp